



松本市市制施行110周年記念  
平成30年松本市成人式

1月8日の「成人の日」を前に松本市総合体育館では7日(日)、二十歳の節目を祝う成人式が開かれました。抜けるような青空のもと、鮮やかな晴れ着や真新しいスーツに身を包み、旧友との再会を喜ぶ新成人たちの姿が見られました。式典では、菅谷昭松本市長をはじめ来賓より、お祝いと熱い激励が新成人へ贈られました。

また、映像では松本山雅FCの反町康治監督と映画監督の山崎貴さんが紹介され、新成人へ応援メッセージを贈りました。反町監督は「将来は自分自身で掴むもの。諦めず頑張ってほしい。」と、山崎監督は「自問自答しながら食



らいついて、足場を作って進んでほしい。時代の変化に負けず、前を向いてくじけない気持ちで頑張ってほしい。」とコメントしました。同じく映像で、蟻ヶ崎高校書道部の書道パフォーマンスが披露され、成人式のテーマである「前進」の題字と共に「澄んだ青空の下 新たな一步を踏み出す あなたの人生に 幸せが沢山 訪れますように」というメッセージも紹介されました。人生の節目を迎え、晴れやかな

梓川小学校 PTA主催講演会 『あずさ並木の集い』

11月18日(土)に、梓川小学校において「すべては子供たちの幸せのために」と題し、「就職はゴールじゃない」のセミナーでもお馴染みの、上田情報ビジネス専門学校副校長の比田井和孝氏の講演会が開催されました。

子育ては「やり方」の土台となる「あり方」、すなわちどんな心構えか、どんな思いか、何のためにかといった心の状態が大切であることや、社会に出て役に立てる人に育てるために、いつか折れる根拠のある自



信よりも、何とかなると前向きになれる根拠のない自信を持たせることが、大切であることなど明快に講話されました。授業参観後約400人の保護者や児童が参加しましたが、熱心に聞き入り、親子の絆も深まった講演会になりました。





◆ **美術展** ◆

11月8日(水)から12日(日)までの5日間、梓川アカデミア館では、日頃地区内で活躍する13グループによる360点の絵画・書道・写真・フラワーボトルなどの作品が展示され、延べ456人の観客が来場されました。



◆ **芸能祭・音楽祭** ◆

12日(日)は、梓川老人福祉センターで「芸能祭」を、梓川公民館では「音楽祭」が開催されました。

芸能祭では、梓川中学校の吹奏楽部の演奏から始まり、キッズダンスやフラダンス、エンジェルスハーブの演奏などが行われ、最後は梓川小学校金管バンドの演奏で締めくくりました。どの団体も、日頃の練習の成果を一生懸命表現し、会場は大きな拍手に包まれました。どの作品も表現豊かで、丹精を凝らした力作がそろい、来場された方々を魅了していました。



◆ **音楽祭** ◆

音楽祭では、5団体の発表が行われました。親しみやすい曲や趣向を凝らした演出、澄んだ歌声と迫力ある合唱が響き渡り、観客は魅了され聞き入っていました。

また、加工組合さくらや商工会梓川青年部の出店では、温かいうどんやおでんなども販売され、お腹も心も大いに満たされた1日となりました。

◆ **音楽祭** ◆

音楽祭では、5団体の発表が行われました。親しみやすい曲や趣向を凝らした演出、澄んだ歌声と迫力ある合唱が響き渡り、観客は魅了され聞き入っていました。



**公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合 功労者表彰**

**古旗 剛さん(上野)が受賞**



11月9日(木)、全国スポーツ推進委員研究協議会茨城大会において、長年の地域スポーツの指導・普及などの功績が評価され、功労者表彰を受賞されました。

古旗さんは「今後も多くの方にスポーツの楽しさを知ってもらい、梓川地区の健康・体力づくりに寄与していきたい。」と話していました。

**雑記帳**



年末になると増えるのが、歌番組とお笑い番組。特に面白い番組を観ているといつの間にか腹の底から笑い、一年となることを願う。

新しい年が始まった。平昌オリンピック・パラリンピックや、サッカーワールドカップでの日本人選手の活躍が期待される。笑う門には福来たる」という様に、平成最後の年が笑顔の溢れる明るい年となることを願う。

の疲れもふつとんでいく気がする。『笑い』にはそれだけの力がある。辛い時、疲れた時、無理矢理でも声を出して笑えばなんだか元気が出てくる。毎年発表される『新語・流行語大賞』に必ずお笑い界からノミネートされるのも世間が笑いを求め、笑いに救われていくからではないだろうか。

